



4月24日(日) 午後2時～午後3時30分
三田市役所本庁舎 委員会室

【出席議員】坂本三郎／大西雅子／國永紀子／田中一良／美藤和広／長谷川美樹／田中秀典



参加者

防災に関して、ハザードマップを見ても高齢者には解りにくい。「日本一住みやすい」まちを求めているようだが、避難することが困難である。

議員



地域でどうやって高齢者を避難させていくかについては、行政はもとより、日頃の市民の皆様とのつながりが大切。私たちも具体的にお聞きして、行政に改善を求めています。



参加者

中学生の部活動についてだが、文化について学校に力を入れていただけよう望む。「歌」は心を豊かにし、人とつながることができる。音楽会で金賞を取れば三田も有名になる。

議員



シティセールスの一つとして、文化が日本屈指になるくらいの方角を示していけるよう、私たちも努力していきたい。また、毎月第4金曜日にロビーコンサートを開催している。音楽は市民の心の教養として大切だと考えている。



参加者

市民病院について、緊急時に消防署へ連絡した際市民病院で受け入れられず、神戸へ搬送された。市民病院の救急対応はどうなっているのか。

議員



医師不足の解消のため、医師の増員を行っている。また、三田市以外の利用者が3割に達していることから、医療圏域を守って欲しいと行政も求めている。



4月29日(金) 午後2時～午後3時30分
ウッディタウン市民センター

【出席議員】今北義明／中田初美／前中敏弘／家代岡桂子／平野菅子／檜田充／佐貴尚子



参加者

一人親家庭の自立支援の具体的内容を教えて欲しい。また、スクールソーシャルワーカーは何名配置されているのか。

議員



国は自立支援としてワンストップの窓口の設置を進めている。就学支援、学力の格差を無くすための県の事業であった「がんばりタイム」を三田市は拡充している。スクールソーシャルワーカーについては本年度2名の配置をした。順次全校に配置をしていく。



参加者

熊本で大きな災害が起きている。災害が起こった際避難所にたどり着けない場合、区や自治会の一時避難所へ避難するが、介護等が必要な方への受け入れ態勢は備わっているのか。

議員



介護や援助が必要な方の受け入れは、福祉センターのみとなっているため、広く利用できるよう改善を要望している。また、最近では想定を超える災害が起こっており、議会としても、地域の現状を把握し実情に沿った災害対策を考えていく。



参加者

空き家対策について。市営住宅に住んでいるが、3軒の空き家の管理費を住民で負担している。未入居期間が長くなれば住民負担が大きいため、募集をもっと頻繁にかけて欲しい。

議員



市営住宅の空き家については、現在熊本の災害避難者の受け入れが4軒決まっている。また、空き家の管理費の問題については今後行政と話しをしていきたい。

アンケートでの自由意見 (5～7頁下に掲載、会場別ではありません)

- 参加者がもっと多いと思ったが、思いの外少なく驚いた。度々開いていただきたい。(60代以上女性)
- 議会での質疑における行政側の回答で「検討する」とある場合、その後の結果について知る方法はあるのか。(60代以上男性)
- 今回の報告会資料のように、「つなぐ」をもう少し充実出来ないか。(60代以上男性)
- 議会報告会の参加者を増やす工夫が必要ではないか。(60代以上男性)
- できるだけ日曜日をお願いします。(40代男性)
- 回数を増やして欲しい。(60代以上)
- 議会報告会として何をしたいのかが見えない。(20代男性)
- 初めて参加しましたが、意見交換会での市民の方々の屈託のない意見が聞いて勉強になりました。(50代男性)

アンケートでの自由意見 (5～7頁下に掲載、会場別ではありません)

- 報告資料説明が十分資料を生かしてない。枠で囲んだ項目のみの説明では物足りない。(60代以上)
- 貴重な内容を聞くことができました。(60代以上男性)
- 資料を読むだけの説明では解り難い。具体的事例を含めて説明を願う。(60代以上男性)
- 意見交換は出席者からの意見はぐっとくるものがあったが、議員からの回答は表面的で残念に思った。(60代以上男性)
- 今日の参加者の意見をぜひ議会に反映して頂きたいと思います。(60代以上男性)
- 今日提案されたことがぜひ前向きに進められることを希望します。(50代女性)
- 市民に密着した議会であることを要望します。(60代以上女性)
- 安心安全で住みよい三田市を作って欲しい。(60代以上女性)